

いしがりがわの アイヌゴ



さば

.....
あたま



しき

.....
め



てけ

.....
て



ちきり

.....
あし

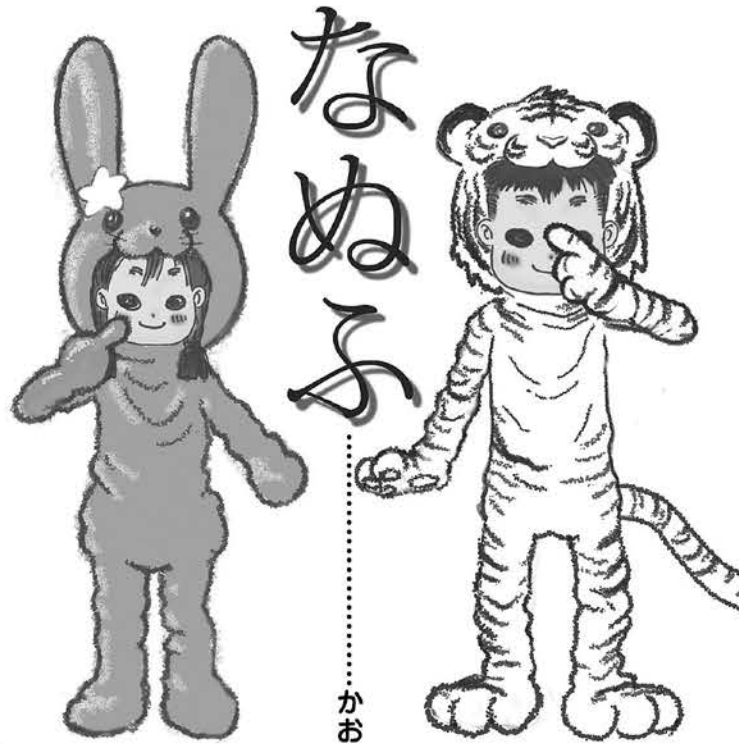


なぬふ

.....
かお



いしがりがわの アイヌゴ



このテキストについて

当公益財団では、2010年度にアイヌ語千歳方言、美幌方言、幌別方言の教科書を作成しました。2011年度は、前年度に作成された教科書を踏襲しつつ改良を加え、静内方言、釧路・白糠方言、十勝方言の教科書を新たに作成しました。今年度は更に、石狩川方言、沙流方言、カラフト方言の教科書を作成しました。

編集方針

このテキストは、アイヌ語の基本的な表現を聞き、口にすることを通じて、アイヌ語に親しむことを目的に編集しました。文法解説にはあまり踏み込まず、1年を通しての暮らしの中で、子供たちが実際に使えそうな表現を掲載してあります。4月から始まっていますが、各月が独立していますので、どの月から始めることができます。教室では、あまり細かな解説はせず、例文を繰り返して聞き、発音することでフレーズを覚えてしまうことが最初の目標になります。例文を覚えた後は、練習問題に取り組むことによって応用ができるようになることを目指しましょう。そうした他地域の言葉・文化に関心を持ち、自分の地域についてもよく知るきっかけとなるよう、必要に応じて他方言についても解説しています。本文に加え、伝統的な歌や言葉遊び、よく知られた童謡のアイヌ語訳を掲載しています。副教材としてカルタも添え、さまざまな角度から、楽しみながら言葉を身につけられるようにしています。

例文と単語について

本書『いしかりがわのアイヌご』の本編の例文と単語は、石狩川流域の中流（空知）から上流（旭川・上川地方）あたりのアイヌ語話者によって残された数々の資料に基づいています。おもに、砂沢クラ『私の一代の思い出』（みやま書房、1983）・服部四郎ほか編『アイヌ語方言辞典』（岩波書店、1964）・『アイヌ民俗文化財調査報告書 1 旭川』（北海道教育委員会、1982）、浅井亨「アイヌ語の文法 アイヌ語石狩方言の概略」『アイヌ民族誌 下』（第一法規、1969）、田村すず子「アイヌ語石狩方言の人称代名詞と人称接辞」（『金田一博士米寿記念論文集』三省堂、1971）、田村すず子「アイヌ語石狩方言における人称接辞の主格・目的格接合」（『言語の科学』1号、東京言語研究所、1970）・『上川アイヌの研究』（私学教育研究所、1990）などを参照しながらこのテキストを作成しました。

文例はこれまで発行された他方言のテキストの文例を基本にしつつ、執筆者の一人である大野が石狩方言の言い方にこれらの資料をもとに修正しました。

音声について

アイヌ語の発音は日本語と異なっており、特に難しいところは、音声を聞きながら学習する必要があります。この本を教室等で利用するほか、家庭でも利用できるように、例文や単語、言葉あそび、歌などの音声を収録しました。収録に協力してくださ

ったのは、普段は日本語で生活し、アイヌ語は学習によって身につけた方々です。一般に言葉を学ぶときには、もともとその言葉を使っている方から教わるのがよいとされており、これはアイヌ語においても同じことがいえます。しかし、そうしたアイヌ語の発音に触れる機会が少ない中で、最初の手がかりになればという考えから、音声を用意しました。

文化的事項について

本書はアイヌ語の教科書ですが、アイヌ文化に関する解説をしたコラムを挿入してあります。これには三つの理由があります。アイヌ語話者の発話の中には、文化的な背景の説明を要する語彙が含まれていることがあります。また、アイヌ語を学ぼうとする動機は様々ですが、本書を用いて学習する方々には、かつての生活習慣についてもあわせて学びたいという動機を持っている方が少なくないと考えられます。そして、言葉の学び方は一つではなく、言葉を文化的な文脈の中で、時には体験もまじえて習得することが効果を生むことも考えられます。こうした理由から文化的な解説も行うこととしました。

この本を通じてアイヌ語に関心を持たれた方は、『初級編』や『中級編』に進んでみてください。さらに学習を進めたい方は、これまでに出版されたより専門的な解説書や視聴覚教材を通じて、自然なアイヌ語の文に触れる事をおすすめします。

この本を作る過程で多くの方にご指導を頂きました。記してお礼申し上げます。

【例文・単語】

太田満（石狩川方言）、大野徹人（沙流方言）、北原次郎太（カラフト方言）
高橋靖以（執筆協力）

【文法解説】

太田満（石狩川方言）、大野徹人（沙流方言）、北原次郎太（カラフト方言）
高橋靖以（執筆協力）

【言葉遊び・歌】

北原次郎太

【音声収録（五十音順）】

太田奈々、加納ルミ子、川上さやか、川村久恵、杉村フサ、竹内隼人、
豊川容子、中井貴規、八谷麻衣、山道ヒビキ、山道陽輪、山本りえ

【イラスト】

小笠原小夜、椎名庵

はじめに

こんにちは、アイです。ヌイです。タクです。



アイ



ヌイ



タク

アイ：タク君、この本で一緒にアイヌ語を勉強しようね。

タク：勉強？ ぼく勉強は苦手だなあ。

ヌイ：でもタク君、アイヌ語に興味があるんでしょう？

タク：うん、どんな言葉なのか、ちょっとだけ知りたいなあと思って。アイちゃんは？

アイ：私は、アイヌ語を話せるのってカッコイイかなって思うのと、アイヌ語で日記とか書いてみたい。「今日の晩ごはんはとってもおいしかったです。だけど、お手伝いをしなかったので、お母さんにしかられました、マル」とかね。

タク：へえ～。この本で勉強したら、アイヌ語で日記が書けるようになるの？

アイ：ううん、そうじゃないの。この本は、タク君みたいにちょっとだけ知りたい人向き。だから、あんまりむずかしい説明はなくて、アイヌ語をそのまま覚えて口に出してみましよう、ということをめざしているみたい。私は、この本が終わったら、次は『初級編』、『中級編』に進んでいくつもり。

タク：それならば僕は、『初級編』までいかどうか自信がないけど、まずはこの本を見てみることにするよ。でも、他にもやりたいことがいろいろあるし、きっと1ヵ月に何回かしか使わないよ。

ヌイ：そのくらいでもいいんじゃない？この本は、最初から読んでいって、だんだんむずかしくなるっていうんじゃないくて、どこから読みはじめてもいいみたい。歌ものってるし。

タク：他のところは飛ばして、歌のところだけ見ようかな？

アイ：私は春から使い始めてほしい1ヵ月にひとつずつ読もうと思ってるの。今年のクリスマスには「ジングルベル」をアイヌ語で歌うつもり。一緒に歌う？

タク：じゃあ僕もアイちゃんと一緒にこれで勉強しようっと。来年は、アイヌ語でアニメソングを歌いたいな。

もく
目

じ
次

4月	^{がつ} みんなで ^{あそ} 遊ぼう	10
5月	^{がつ} たの ^{さん} 楽しい ^{さい} 山菜とり	12
♪	うたってみよう(1)～ ^{もり} 森のくまさん～♪	14
6月	^{がつ} ^{はし} 走るのが ^{はや} 速いね	16
7月	^{がつ} ^{うみ} 海へ行 ^い こうよ	18
♪	うたってみよう(2)～かぞえうた～♪	20
♪	^{がつ} ^{せん} 先祖 ^ぞ を ^{たい} 大切に ^{せつ}	22
9月	^{がつ} おいしいものがいっぱい	24
♪	うたってみよう(3)～おびひろのおどりうた～♪	26

10月	冬 <small>ふゆ</small> が来 <small>く</small> る前 <small>まえ</small> に.....	28
11月	針 <small>はり</small> と糸 <small>いと</small> をもつて.....	30
	♪うたってみよう(4)～ジングルベル・きよしこの夜 <small>よる</small> ～♪	32
12月	今日 <small>きょう</small> も寒 <small>さむ</small> いねえ.....	34
1月	お祭 <small>まつ</small> りの準 <small>じゅん</small> 備 <small>び</small>	36
	♪うたってみよう(5)～からだのうた (しずかなこはん)～♪	38
2月	カムイ <small>かん</small> に感 <small>しゃ</small> 謝 <small>しゃ</small> をする.....	40
3月	子 <small>こ</small> グマ <small>ぐま</small> を授 <small>さず</small> かる.....	42



アイヌ語(北海道方言)の音節(カタカナ表記)

【母音】

ア イ ウ エ オ

【子音+母音】

カ	キシ	ク	ケ	コ
サ	シ	ス	セ	ソ
タ		ド (トウ)	テ	ト
チャ	チ	チュ (ツ)	チエ	チヨ
ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ
ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ
パ	ピ	プ	ペ	ポ
マ	ミ	ム	メ	モ
ヤ	イ	ユ	イエ	ヨ
ラ	リ	ル	レ	ロ
ワ		ウ	ウエ	ウオ

【母音+子音】

ア	イク	ウク	エク	オク
アシ (アス)	イシ (イス)	ウシ (ウス)	エシ (エス)	オシ (オス)
アツ	イツ	ウツ	エツ	オツ
アン	イン	ウン	エン	オン
アプ	イプ	ウプ	エプ	オプ
アム	イム	ウム	エム	オム
アイ		ウイ	エイ	オイ
アラ (アル)	イリ (イル)	ウル	エレ (エル)	オロ (オル)
アウ			エウ	オウ

【子音 (例としてカ行の音) +母音+子音】

カ	キ	ク	ケ	コ
カシ (カス)	キシ (キス)	クシ (クス)	ケシ (ケス)	コシ (コス)
カッ	キツ	クツ	ケツ	コツ
カン	キン	クン	ケン	コン
カプ	キプ	クプ	ケプ	コプ
カム	キム	クム	ケム	コム
カイ		クイ	ケイ	コイ
カラ (カル)	キリ (キル)	クル	ケレ (ケル)	コロ (コル)
カウ	キウ		ケウ	コウ

* () で示した音節は、単語によって固定されていたり、実際の発音を聞くと、同じ単語でも二つの発音が聞かれる音節です。

アイヌ語(北海道方言)の音節(ローマ字表記)

【母音】

a	i	u	e	o
---	---	---	---	---

【子音+母音】

ka	ki	ku	ke	ko
sa	si	su	se	so
ta		tu	te	to
ca	ci	cu	ce	co
na	ni	nu	ne	no
ha	hi	hu	he	ho
pa	pi	pu	pe	po
ma	mi	mu	me	mo
ya	yi	yu	ye	yo
ra	ri	ru	re	ro
wa		wu	we	wo

【母音+子音】

ak	ik	uk	ek	ok
as	is	us	es	os
at	it	ut	et	ot
an	in	un	en	on
ap	ip	up	ep	op
am	im	um	em	om
ay		uy	ey	oy
ar	ir	ur	er	or
aw	iw		ew	ow

【子音(例としてK) + 母音+子音】

kak	kik	kuk	kek	kok
kas	kis	kus	kes	kos
kat	kit	kut	ket	kot
kan	kin	kun	ken	kon
kap	kip	kup	kep	kop
kam	kim	kum	kem	kom
kay		kuy	key	koy
kar	kir	kur	ker	kor
kaw	kiw		kew	kow

がつ 4月 みんなで遊ぶ ぼう

フクジュソウの花の咲く春は、新しい仲間や友だちに出会うことが多い季節です。
 みんなでアイヌ語を勉強しましょう。

トット ドラノ エエク ルウェ？
 Tutto turano e=ek ruwe?

お母さん とともに あなたが来た のか
 「お母さんと一緒に来たの？」


ルウン。 トット ドラノ クエク。
 Ru un. Tutto turano ku=ek.

はい お母さん とともに 私が来る
 「うん、お母さんと一緒に来たんだ」

エタク アイヌ イタク アリ ウポポアン ロ。
 Etak aynu itak ari upopo=an ro.

さあ アイヌ 言葉 で 歌う・私たちが しよう
 「さあアイヌ語で歌いましょう」



 おぼ 覚えよう～季節をあらわす言葉～



パイカラ	paykar	「春」
サク	sak	「夏」
チュク	cuk	「秋」
マタ	mata	「冬」

 れんしゅう 練習

トット ドラノ クエク。

Totto turano ku=ek.

お母さん とともに 私が来る

「お母さんと一緒に来たんだ」

「お母さん」の部分^{かあ}を他の人^{ぶぶん}に置き換えて^{ほか}言^{ひと}ってみましよう。

ハンペ hampe 「お父さん」

エカシ ekasi 「おじいちゃん」

フチ huci 「おばあちゃん」

 れんしゅう 練習

ウポポアン ロ。

Upopo=an ro.

歌う・私たちが しよう

「歌いましょう」



「歌う」の部分^{うた}を他の言葉^{ぶぶん}に置き換えて^{ほか}「～しましよう」と言^{ことば}ってみましよう。

シノタン sinot=an 「私たちが遊ぶ」

ホシッパン hosippa=an 「私たちが帰る」

パイエアン paye=an 「私たちが行く」

イペアン ipe=an 「私たちが食事する」

ホユッパン hoyuppa=an 「私たちが走る」

がつ たの さんさい
5月 楽しい山菜とり

おそ ゆき お やまやま すこ みどり さんさい しょくたく
遅い雪どけが終わった山々に少しずつ緑がめばえてくると、やがて山菜が食卓をにぎ
わす季節になります。アイヌ語を声に出しながら自然の恵みをいただきますよう。

キム タ パイエアン ロク。

Kim ta paye=an rok

やま へ いく わたし
山へ行く・私たちが

「山菜とりに行きましょう」

アハタアン ロ。

Ahata=an ro.

ヤブマメほりをする わたし
ヤブマメ掘りをする・私たちが

「ヤブマメを掘りましょう」

タネ クシンキ ウマン。 クアッカシ エトランネ。

Tane ku=sinki hum an. Ku=apkas etoranne.

いま わたし つか ある わたし ある いや
今 私が・疲れる 感じ ある 私が・歩く 嫌だ

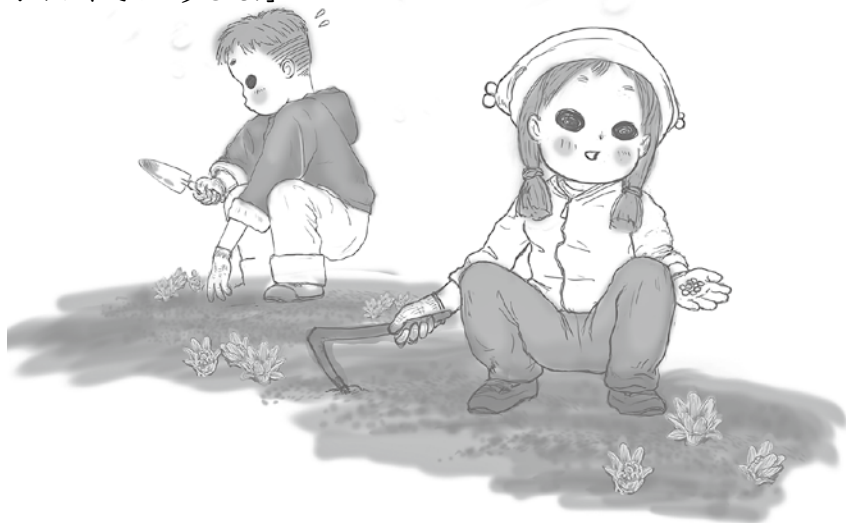
「疲れたなあ。もう歩きたくない」


キトピロ ポロンノ アン ナ。

Kitopiro poronno an na.

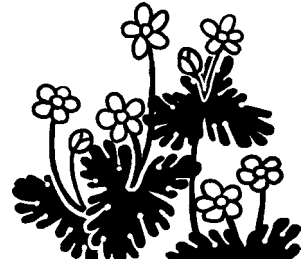
ギョウジャンニク たくさん ある よ

「ギョウジャンニクがたくさんあるよ」



 おぼ 覚えよう ～ 春の山菜～
はる さんさい

ケン	ken	「ヒルガオの芽」
キトピロ	kitopiro	「ギョウジャンニク」
プクサキナ	pukusakina	「ニリンソウ」
チマキナ	cimakina	「ウド」
コロコニ	korkoni	「フキ」


 れんしゅう 練習

クアッパシ エトランネ。

Ku=apkas etoranne.

わたし ある 私が歩く いや 嫌だ

ある 「歩きたくない」

わたし ある 「私が歩く」の部分を他の言葉に置き換えて「～したくない」と言ってみましょう。
クモンライケ ku=monrayke わたし しごと 「私が仕事をする」クイカスイ ku=ikasuy わたし てっだ 「私が手伝いをする」クホユプ ku=hoyupu わたし はし 「私が走る」
 れんしゅう 練習

キトピロ ポロンノ アン ナ。

Kitopiro poronno an na.

ギョウジャンニク たくさん ある よ

「ギョウジャンニクがたくさんあるよ」

ぶぶん うえ 「ギョウジャンニク」の部分を上にあげた他の山菜に置き換えて「～がたくさんある」と言ってみましょう。


♪うたってみよう (1) ~^{もり}森のくまさん~♪

♪ シネアントタ ニタイ ドムタ キムンカムイ クヌカラ
 sine an to ta nitay tum ta kimunkamuy ku=nukar
 あるひ もりのなか くまさんに であった

♪ ルサム タ ノンノ ヘチラシパ キムンカムイ クヌカラ
 ru sam ta nonno heciraspa kimunkamuy ku=nukar
 はなさくもりのみち くまさんにであった

♪ キムンカムイ エネイタキ ポン メノコ ホクレ キラ
 kimunkamuy ene itak hi pon menoko hokure kira
 くまさんは こういった おじょうさん さあにげて

♪ すたこらさっさっさのさ すたこらさっさっさのさ

♪ ネ コロカイ キムンカムイ エノシ ホユプ ワ エク
 ne korkay kimunkamuy en=os hoyupu wa ek
 ところが くまさんが あとから ついてくる

♪ トコトコ トッコトッコト トコトコ トッコトッコト





♪ ポン メノコ エネチウカ ネツカイ エハチレ
 pon menoko en=eciwka nep kay e=hacire
 おじょうさん おまちなさい なにか おとしたよ

♪ レタラセイ アネカラ ポンポン キサルンペ
 retar sey an=ekar pon pon kisarumpe
 しろいかいで つくった ちいさな イヤリング

♪ キムンカムイ イヤイライケレ ウドラノ リムセアン ノ
 kimunkamuy iyayraykere uturano rimse=an no
 くまさん ありがとう いっしょに おどりましょう

♪ ラララ ラララララ ラララ ラララララ

- * ♪ある〜ひ、もりのなか〜で始まる「森のくまさん」に、アイヌ語をつけてみました。
- * アイヌ語の歌詞は、もとの歌詞の直訳ではありません。
- * 歌詞に使われているアイヌ語は、浦河地方の言葉が中心となっています。

(アイヌ語訳:平成22年度イオル事業・アイヌ文化伝承者育成事業 講師・受講者の皆さん)

6月 走るの^が速^いね

運動会^{うんどうかい}のシーズンです。かけっこ、玉入れ^{たまい}、つな引き^ひ。

がんばっている^{ども}友^{ども}だちをおうえんしましょう。

ドナシノ エホユプ。

Tunasno. e=hotupu.

速^{はや}い あなたが^{はし}走る

「君^{きみ}は走るの^{はし}が速^{はや}いね」

タマ アンピシキ ロ。

Tama an=piski ro.

玉^{たま} 私^{わたし}たちが^{かぞ}数^{かぞ}える よ

「玉^{たま}を数^{かぞ}えましょう」

ウエカラパ ヤン。

Uekarpa yan.

集^{あつ}まる なさい

「集^{あつ}まれえ」


アリキキ ヤン。

Arikiki yan.

がんばる なさい

「がんばれえ」




 おぼえよう～色をあらわす言葉～

レタラ	retar	「白 (い)」
クンネ	kunne	「黒 (い)」
フレ	hure	「赤 (い)」


 れんしゅう 練習

アイヌ語で10までの数の数え方を覚えてみましょう。

もの	かず	い	かた	物	を数える	言い方	ひと	かず	い	かた	人	を数える	言い方
1個	シネ	ネ		1人	シ	ネン	1人	シ	ネ	ン	シ	ネ	ン
2個	ド	プ		2人	ド	ン	2人	ド	ン		ト	ン	
3個	レ	プ		3人	レ	ン	3人	レ	ン		レン		
4個	イ	ネ	プ	4人	イ	ネ	4人	イ	ネ	ン	イ	ネ	ン
5個	ア	シ	ク	5人	ア	シ	5人	ア	シ	ク	ア	シ	ク
6個	イ	ワ	ン	6人	イ	ワ	6人	イ	ワ	ニ	イ	ワ	ニ
7個	ア	ワ	ン	7人	ア	ワ	7人	ア	ワ	ニ	ア	ワ	ニ
8個	ド	ペ	サ	8人	ド	ペ	8人	ド	ペ	サ	ド	ペ	サ
9個	シ	ネ	ペ	9人	シ	ネ	9人	シ	ネ	ペ	シ	ネ	ペ
10個	ワ	ン	ペ	10人	ワ	ニ	10人	ワ	ニ	ウ	ワ	ニ	ウ

目はいくつ？ 足の指はいくつ？
身のまわりにある物の数を数えてみましょう。

兄弟は何人？
身のまわりにいる人の数を数えてみましょう。



が づ う み い
7 月 海 へ 行 こ う よ

かいすいよく かわあそ はまべ あそ ふね の
海水浴に川遊び。浜辺で遊んだり舟に乘ったり。アイヌ語を声に出しながら、楽しい
なつ す
夏を過ごしましょう。

タント シッセセク ウマン。

Tanto sissesek hum an.

きょう あつ かん ある
今日 暑い 感じ

「今日は暑いね」

ペツ エコタ ラパン ワ マアン。 ロ。

Pet ekota rap=an wa ma=an. ro.

かわ へ くだ わたし くだ およ わたし
川 へ 下る・私たちが て 泳ぐ・私たちが よ

「川に行って泳ぎましょう」

アDOI サム タ クサン ルスイ。

Atuy sam ta ku=san rusuy.

うみ ~のそば へ わたし くだ したい
海 ~のそば へ 私が・下る

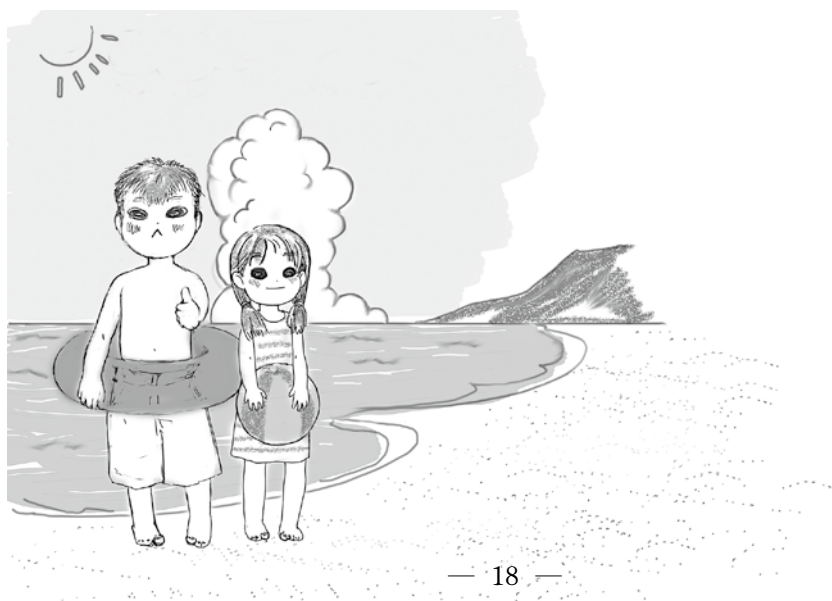
「海に行きたい」


ワッカ クク ルスイ。

Wakka ku=ku rusuy.

みず わたし の したい
水 私が・飲む

「水を飲みたい」



 おぼ 覚えよう～暑さ、寒さの言葉～

シッセセク	sisseseK	あつ 「暑い」
シリポプケ	sirpopke	あたた 「暖かい」
シリメマン	sirmeman	「すずしい」
メアン	mean	さむ 「寒い」



 れんしゅう 練習

タント シッセセク ウマン。
Tanto sisseseK hum an.
きょう あつ かん ある
今日 暑い 感じ
「今日は暑いね」

「暑い」の部分^{ぶぶん}を他の言葉^{ほか}に置き換えて^{ことば}言^おて^かて^いて^いま^いま^しよ^う。

 れんしゅう 練習

ヤム ワッカ ク ヤ。
Yam wakka ku ya.
つめ みず の なさい
冷たい 水 飲む
「冷たい水を飲みなさい」

「冷たい水」の部分^{ぶぶん}を好きな飲み物^すに置き換えて^の「～が飲^のみたい^い」と言^いて^いま^いま^しよ^う。



♪うたってみよう(2)～かぞえうた～♪



♪ シネ ドレブ

sine turep

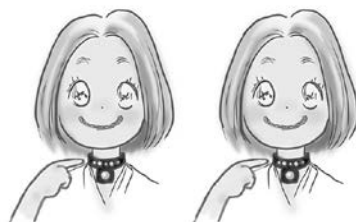
1つの ウバユリ



♪ ド レクドンペ

tu rektumpe

2つの くびかざり



♪ レ イナウル

re inawru

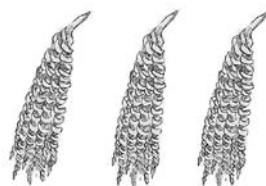
3つの けずりかけ



♪ イネ アツケテク

ine akketek

4つの ほたて



♪ アシクネ イワニ

asikne iwani

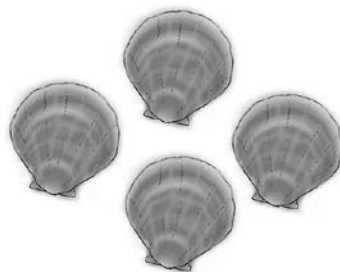
5つの アオダモ



♪ アイヌ イタカニ

aynu itak ani

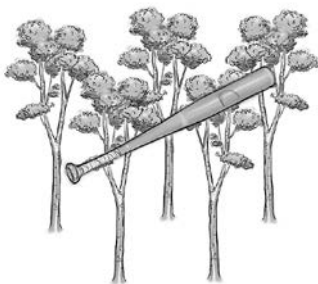
アイヌごで



♪ イピシキキ ヤナニ

ipiski ki yan ani

かずを かぞえてね





♪ イワン アラカシ

iwan arkas
6つの かたごや



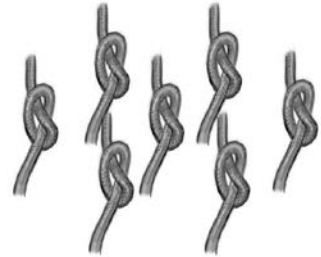
♪ アラワン ドペッ

arwan tupep
7つの むすびめ



♪ ドペサン スネ

tupesan sune
8つの たいまつ



♪ シネペサン ワンパッカ

sinepesan wampakka
9つの てぶくろ



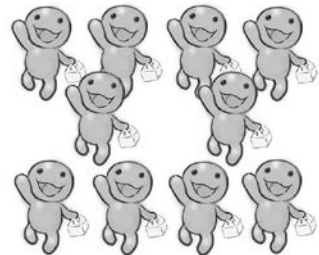
♪ ワン シネウェクル

wan sinewekur
10にんの おきゃくさん



♪ アイヌ イタカニ

aynu itak ani
アイヌごで



♪ シノツチャキアン ロク

sinotcaki=an rok
みんなであうたって みよう



* ひ〜とり、ふ〜たり、さん^{にん} いるよ、よ〜にん、ご〜にん、ろくにん いるよで
知られている「10人のインディアン」に、アイヌ語をつけてみました。

* 歌詞に使われているアイヌ語は、美幌地方の言葉が中心となっています。

(アイヌ語詞: 北原次郎太)

がつ せんぞ たいせつ
8月 先祖を大切に

いの 祈りと お供えは いたしても よいので、お盆 ぼん に あわせて おこなう ことも よく あります。
ご先祖 せんぞ の ことを まわりの ひと に 聞いて みましょ。う。

シンリッ アネオリパク。

Sinrit an=eoripak.

せんぞ わたし うやま
先祖 私たちが敬う

「先祖を大切に敬う」

イアレアン ナ。

Iare=an na.

せんぞ たもの そな
先祖に食べ物をお供えするよ

「先祖供養をしますよ」

※ 年上 じょうじょう の 女性 じょせい が 他 た の 女性 じょせい に対して たいして 使う つかう ことば

クポニタ フチ ドイタク キ ワ エンヌレ。

Ku=pon hi ta huci tuytak ki wa en=nure.

わたし 小さい とき に おばあさん 昔話 おかしばなし する して わたし き
私が小さいとき、おばあちゃんが昔話を私に聞かせる

「私が子どもの頃、おばあちゃんが昔話を私に聞かれました」





覚えよう～先祖にそなえるもの～

トーペンペ	topempe	「甘いお菓子」
サケ	sake	「酒」
タンパク	tampaku	「たばこ」
エシノツペ	esinotpe	「おもちゃ」



クポニタ フチ ドイタッ キ ワ エンヌレ。
 Ku=pon hi ta huci tuytak ki wa en=nure.

わたし・小さい とき に おばあさん 散文説話 する して 私に・聞かせる

「私が子どもの頃、おばあちゃんがドイタッをして私に聞かせました」

「ドイタッ」の部分ぶぶんを、ほかの言葉ことばに置き換えて言ってみましょう。

「ユカラ」「ウポポ」「イフンケ」

ドイタッ tuytak…おもに、人間にんげんが主人公しゅじんこうとなるお話はなし。

ユカラ yukar…おもに、少年しょうねんの英雄えいゆうが主人公しゅじんこうとなるお話はなし。歌うたのようにメロディーかたにのせて語る。

ウポポ upopo…歌うた。

イフンケ ihumke…子守歌こもりうた。




解説～ご先祖さまへのお供え～

8月がつになるとお墓参りはかまいをする人ひとが多勢おおぜいいますね。お墓参りはかまいをして、亡なくなった人ひとにきれいなお花はなや食べ物たべものをお供えそなえて楽しんでもらいます。

アイヌの暮らしでは、お墓はかに行かずに家いえの近くちかでお供えそなをする方かたが多おほかったようです。お花はなではなく木きで作つくったイナウいぬ（御幣状ごへいじょうのもの）、お団子だんごやお菓子かしやお酒さけ、たばこ、亡なくなった人ひとが好きすきだったものをお供えそなします。

亡なくなった人ひとたちは、あの世あのよで暮らくらしているので、火ひの神様かみさまに「お供え物そなを届まけてください」とお願いねがいます。それから、亡なくなった人ひとの名前なまえを言いって、自分じぶんの名前なまえも言いながら「これをお供えそなします」といってお供えそなをします。食べ物たべものはみんなちぎって地面じめんにまぎります。飲み物のも地面じめんにまぎります。そうすると、食べ物たべもののいのちが、亡なくなった人ひとのところに届まくととどいわれています。

 おぼえよう～さかなに関する言葉～

カムイチェブ	kamuycep	「サケ」
イチャニウ	icaniw	「マス」
スプン	supun	「ウグイ」
オクルペ	okurpe	「ヤツメウナギ」



 れんしゅう 練習

タン フイペ エ ヤ。
Tan huype e ya.

この サケの叩き 食べる なさい

「このサケの叩きを食べなさい」

「サケの叩き」の部分^たを他の食べ物^{ぶぶん ほか た}に置き換えて「～を食べなさい」と言^いってみましよう。

カム	kam	「肉」
サヨ	sayo	「おかゆ」
チェプルル	ceprur	「魚のおつゆ」
ラタシケブ	rataskep	「山菜などを煮合せたごちそう」

 れんしゅう 練習

カルシ アンカラ クス パイエアン ロク。
Karus an=kar kusu paye=an rok.

キノコ 私たちが採る ために 行く・私たちが よ

「キノコを採りに行きましよう」



「キノコ」の部分^{ぶぶん ほか}を他のもの^なの名前^{まえ}に置き換えて言^いってみましよう。

クッチ	kutci	「コクワ」
ハツ	hat	「ヤマブドウ」
シケレペ	sikerpe	「キハダの実」

♪うたってみよう(3)～おびひろのおどりうた～♪

おびひろ たの 帯広には楽しいうたとおどりがたくさん伝わっています。みんなでうたってみましょう。地元のひとにおそわっておどりもおぼえましょう。

○へレカンホ○

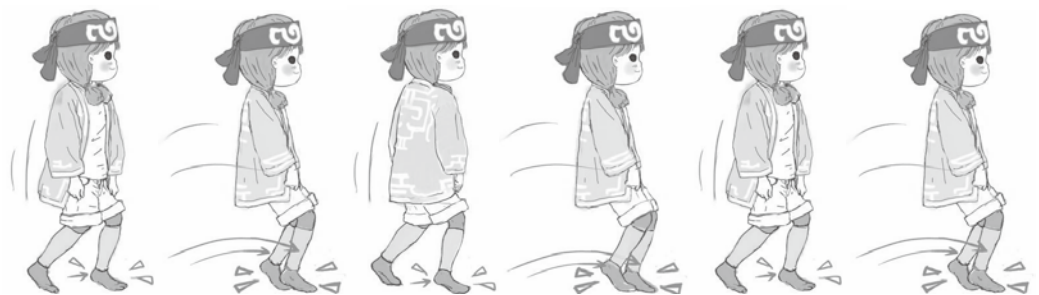
♪へレカンホ へレカンホ イ へレカンホ へイ チュイ アウ ホイ
herekanho herekanho i herekanho hey cuy aw hoy



①両手をひだりしたに、左足をすすめる→両手を右上にパン、右足をよせる



②かがんで両手でひざをポンポン→左にとびながら体をひねって両手をひらく



③左足を小さくふみだし両足でピョン→右足を小さくふみだし両足でピョン

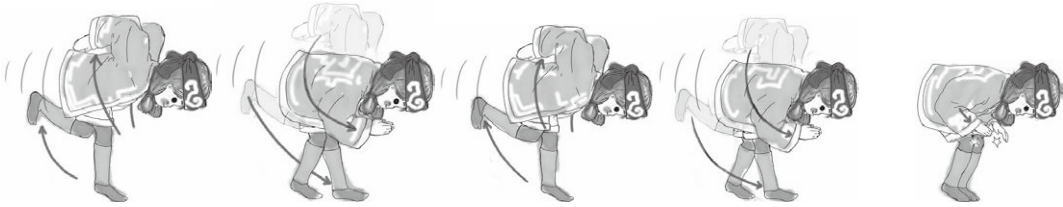




○パッタキリムセ○

♪ ハエー ハエー トカチ エソロ ハエー ハエー
 hae i hae i tokaci esoro hae i hae i
とからがわ そ
 十勝川に 浴って

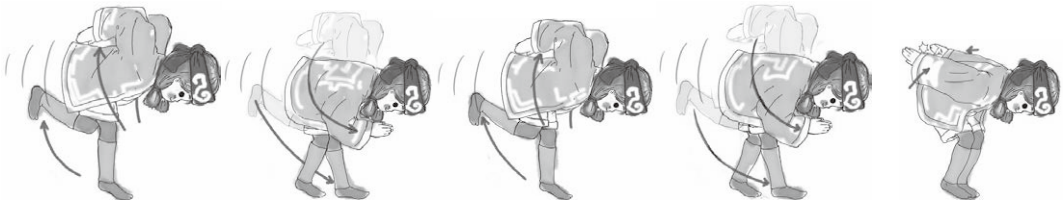
♪ ハ! チコツチャケ タ チコツカパケ チウトモキ!
 ha! ci=kotcake ta ci=kokkapake ci=utomoki!
わたし まえ わたし わたし う あ
 私の前 で 私のひざ 私が・打ち合わせる(?)



- ①腰をかがめ、肘を曲げて両手を後ろへ、いっしょに片足をかかとから後ろへ手
あし まえ あし すこ まえ
 と足を前へもどしながら、もどした足を少し前へすすめる(交互に繰り返し)
 ②歌が変わったところで膝を屈伸し両手で膝をポンポン

♪ ハエー ハエー トカチ エソロ ハエー ハエー
 hae i hae i tokaci esoro hae i hae i
とからがわ そ
 十勝川に 浴って

♪ ハ! チオシマケ タ チシットケウエ チウトモキ!
 ha! ci=osmake ta ci=sittokewe ci=utomoki!
わたし うし わたし わたし う あ
 私の後ろ で 私のひざ 私が・打ち合わせる(?)



- ③歌がもどったら①と同じ動き
 ④歌が変わったところで膝を屈伸し、両手を後ろに伸ばしてポンポン



10月 冬が来る前に

秋が深まって日の暮れるのが早くなっても、子どもたちは外で遊ぶのが好き。大人たちが少しずつ始める冬支度。アイヌ語で言ってみましょう。

ハンペ サッチェプ ポロンノ ホク。

Hampe satcep poronno hok.

お父さん 干し魚 たくさん 買う

「父さんは干し魚をたくさん買った」

トット カルシ サツケ。

Totto karus satke.

お母さん キノコ 乾かす

「お母さんはキノコを干した」

エソン アシパン ワ シノタン ロク。

Eson asip=an wa sinot=an rok.

外へ 出る・私たちが して 遊ぶ・私たちが しよう

「外へ出て、遊びましょう」

レラ ユパケ クス チセ オツ タ シノタン ロク。


Rera yupke kusu cise or ta sinot=an rok.

風 激しい ので 家 中で 遊ぶ・私たちが

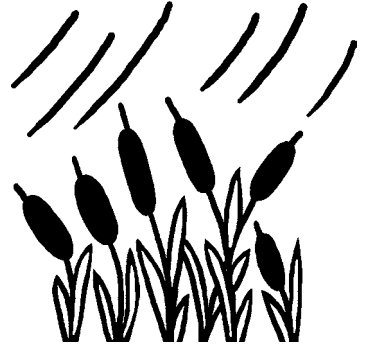
「風が強いから、家の中で遊びましょう」

* オロ「中」は、夕のまえでは、オツという発音にかかります。




 おぼえよう～天気に関する言葉

ルヤンペ	ruyampe	「雨」
レラ	rera	「風」
ウパシ	upas	「雪」
ペソシ	pesos	「みぞれ」



 れんしゅう 練習

ハンペ サツチェブ ポロンノ ホク。
 Hampe satcep poronno hok.
 わたし どう ほ さかな たくさん か
 私の・お父さん 干し魚 たくさん 買う
 「父さんは干し魚をたくさん買った」

「干し魚」の部分^{ほ さかな}を他の物^{ぶぶん}に置き換えて「父さんは～をたくさん買った」と言^いってみましよう。


 れんしゅう 練習

レラ ユブケ クス チセ オツ タ シノタン ロク。
 Rera yupke kusu cise or ta sinot=an rok.
 かぜ はげ いえ なか あそ わたし
 風 激しい ので 家 中 で 遊ぶ・私たちが
 「風が強いから、家の中で遊びましょう」

「風が強い」の部分^{かぜ つよ}を「雨が降る」^{あめ ふ}「雪が降る」^{ゆき ふ}「みぞれが降る」^{みぞれ ふ}に置き換えて言^いってみましよう。

ルヤンペ アシ ruyampe as 「雨が降る」
 ウパシ アシ upas as 「雪が降る」
 ペソシ アシ pesos as 「みぞれが降る」



がつ はり いと
11月 針と糸をもって

てづく りのものが身のまわりにある、てま じかんをかけてつくったものをわたされる、すこ あたたかな気分になります。アイヌ語で言ってみましょう。

ハンペ アッドシ ミ。

Hampe attus mi.

わたし とう じゅ ひ い きる
私の・お父さん 樹皮衣 着る

「お父さんはアッドシを着る」

トット ケメイキ コロ アン。

Totto kemeyki kor an.

わたし かあ さいほう ながら いる
私の・お母さん 裁縫をする ながら いる

「お母さんは裁縫をしている」

タンペ クコロ アミプ ネ。

Tampe ku=kor anmip ne.

これ わたし 私の きもの よ
これ 私の 着物 よ

「これは私の着物だよ」


サポ カエカ(カイカ) ワ アシケペチ アラカ。

Sapo kaeka wa askepeci arka.

わたし ねえ いと て 手の指 いた
私の・姉さん 糸よりする て 手の指 痛い

「姉さんは糸作りをして手の指が痛くなった」



 おぼえよう～針仕事の言葉～

ケム	kem	「針」
カ	ka	「糸」
ヌイト	nuyto	「縫い糸」
カタク	katak	「糸玉」


 練習

タンペ クコロ アミプ ネ。
 Tampe ku=kor anmip ne.

この 私・持つ 着物

「これは私の着物だよ」

「着物」の部分^{ぶぶん}を他の言葉^{ほか}に置き換えて「これは～だよ」と言^いってみましょう。

コンチ konci 「帽子」
 パスイ pasuy 「はし」
 イタンキ itanki 「おわん」

 練習

クアシケペチ アラカ。
 Ku=askepeci arka.

わたし・て 手の指 痛い

「手の指が痛い」

「手の指」の部分^{ぶぶん}を他の言葉^{ほか}に置き換えて「～が痛い」と言^いってみましょう。

クパケ ku=pake 「私の頭」
 クニマキ ku=nimaki 「私の歯」
 クレクチ ku=rekuci 「私の喉」
 クホニ ku=honi 「私の腹」
 クイツケウェ ku=ikkewe 「私の腰」



♪うたってみよう(4)～ジングルベル・きよしこの夜よる～



♪ ジングルベル ♪

♪ ウパシ ポロ ヌソ アオ ワ

upas poro nuso a=o wa
すごいゆきだ ソリにのって



♪ パイエアンロ ミナアン カネ

paye=an ro mina=an kane
でかけよう わらいながら



♪ ヌソ エトコタ エトロ チャラケ

nuso etoko ta etor carke
ソリのまえて すずがちりん



♪ アエケウドムシノチタラ

a=ekewtumusinocitara
みんなのきもちもわくわくさ



♪ ジングルベルジングルベル ドヌニタラ

ジングルベルジングルベル tununitara
ジングルベルジングルベル すずがなる



♪ ヌソ アエシノッコロ アエキロラン

nuso a=esinot kor a=ekiroran
ソリであそぶと めちゃたのし



♪ ジングルベルジングルベル ドヌニタラ

ジングルベルジングルベル tununitara
ジングルベルジングルベル すずがなる



♪ ヌソ アエシノッコロ アエキロラン

nuso a=esinot kor a=ekiroran
ソリであそぶと めちゃたのし





♪ きよしこの夜^{よる} ♪

♪ シオイナ タヌ克蘭
sioyna tan ukuran
せいなる このよる

♪ キヤイ ノチウ
kiyay nociw
かがやくほし

♪ カムイ ポンテイネシ
kamuy pon teynesi
かみの おさなごは

♪ コロ ハポ ウソロ
kor hapo upsoro
ははの ふところに

♪ エモコロ キナ アプニタラ
emokor ki na apunitara
ねむっている やすらかに



* クリスマクソングの定番^{ていばん}である「ジングルベル」と「きよしこの夜^{よる}」にアイヌ語^ごをつけてみました。

* 歌詞^{かし}に使われているアイヌ語^ごは、**幌別地方の言葉**^{ほろべつちほう ことば}が中心^{ちゅうしん}となっています。

(アイヌ語訳: 平成^{へいせい}22年度^{ねんど}イオル事業^{じぎょう}・アイヌ文化^{ぶん かもん}伝承者^{でんしょう}育成^{りくせい}事業^{じぎょう} 講師^{こうし}・受講者^{じゅこうしゃ}の皆さん^{みな})

がつ きょう さむ
12月 今日も寒いねえ

寒い日が続きます。風邪をひかないように注意しながら、アイヌ語の勉強を続けましよう。

ウパシ アシ ナ。

Upas as na.

ゆき ふ 降る よ

「雪が降ったよ」



クテッコトロ ヤム ウマン。 クウレアサム カ ヤム ウマン。

Ku=tekkotoro yam hum an. ku=ureasam ka yam hum an.

わたしの手首から先 冷たい 感じ ある わたしの足首から先 も 冷たい 感じ ある

「手が冷たい。足も冷たい」

タント メアン

Tanto mean

きょう 今日 さむい (気温が)

「今日は寒い」

クメライケ。

Ku=merayke.

わたし (人が) さむい

ヤイドパレ

Yaitupare (Yaitupare)

き 気をつける

「気をつけなさい」

ヤ。

ya.

なさい

エオムケカラ

E=omkekar

あなたが風邪をひく か

「風邪をひいたの？」

ヤ?

ya?



ぬりえ

好きな色をぬってみましょう。アイヌ語の色をあらわす言葉も、あわせておぼえましょう。

コンカニ konkani
クンネ kunne
フレ hure
フキナネ hukinane

シケレペペウシ sikerpepeus
ルフレ ru hure
ルクンネ ru kunne
ルレタラ ru retar

きん
金
くろ
黒 (い)
あか
赤 (い)
わかくさいろ
若草色 (である)
しずないほうげん
(静内方言)
きいろ
黄色
ピンク
はいいろ
灰色



シロカニ sirokani きん
「銀」
レタラ retar しろ
「白 (い)」
シウニン siwnin あお
「青 (い)」もしくは
みどり
「緑 (みどり)」、「黄色 (い)」

がっ まつ じゅんび
1月 お祭りの準備

ふゆ まつ
冬にはお祭りがたくさんあります。男おとこの人の準備ひと、女おんなの人の準備ひと、どんなことをして
いるのでしょうか。

アシリ パ アン ナ。
Asir pa an na.

あたら とし
新しい年 ある よ
「新しい年になりました」

オッカヨ ウタヲ イナウケ。
Okkayo utar inawke.

だんせい もくへい けず
男性 たち 木幣を削る
「男の人たちはイナウを削る」

メノコ ウタヲ トノト カラ。
Menoko utar tonoto kar.

じょせい さけ つく
女性 たち 酒 作る
「女の人たちはお酒を仕込む」

エチキ ウコイキ ヤン。
Eciki ukoyki yan.

するな けん か
喧嘩をする なさい
「喧嘩をしてはいけません」

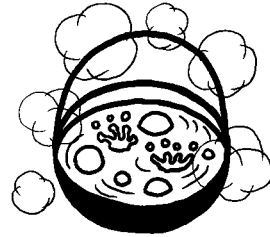
ポンノ エンカスイ ヤ。
Ponno en=kasuy ya.

すこ わたし てつだ
少し 私を手伝う なさい
「少し手伝ってちょうだい」



おぼ 覚えよう～道具や料理の名前～

マキリ	makiri	こがたな 「小刀」
ス	su	なべ 「鍋」
ニマ	nima	ほん 「盆」
ドキ	tuki	しゅはい 「酒杯」
イクパスイ	ikupsuy	ほうしゅぼし 「奉酒箸」
ルル	rur	「おつゆ」

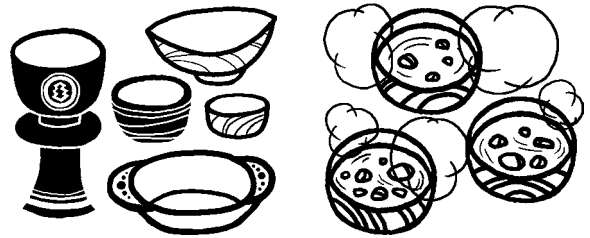


れんしゅう 練習

エチキ ウコイキ ヤン。
Eciki ukoyki yan.

するな けんか 喧嘩をする なさい

「けんか 喧嘩をしてはいけません」



「けんか 喧嘩をする」の部分^{ぶぶん}を他の言葉^{ほか}に置き換^{ことば}えて「～してはいけません」と言^おってみましよう。

イララ irara 「いたずらをする」
シノツ sinot 「あそぶ」
イオイラ ioyra 「物忘れする」



♪うたってみよう(5)～ からだのうた (しずかなこはん)～♪

① ♪ サパ(ハ) エトウ(フ) シキ(ヒ) パロ(ホ)

sapa(ha) etu(hu) siki(hi) paro(ho)
あたま頭 はな鼻 め目 くち口



♪ キサラ(ハ) ナヌ(フ)

kisara(ha) nanu(hu)
みみ耳 かお顔



♪ オトピ(ヒ) レクチ(ヒ)

otopi(hi) rekuci(hi)
かみ髪 くび首



♪ テケ(ヘ) ホニ(ヒ)

teke(he) honi(hi)
て手 はら腹



♪ コッカサパ(ハ) パラウレ(ヘ)

kokkasapa(ha) paraure(he)
ひざ あし足



♪ チキリ(ヒ) オソロ(ホ)

cikiri(hi) osoro(ho)
あし脚 しり





② ヤトウイポキ(ヒ) シットキ(ヒ)

yatuypoki (hi)
脇わき

sittoki (hi)
肘ひじ



アシケペチ(ヒ) アミ(ヒ)

askepeci (hi)
指ゆび

ami (hi)
爪つめ



テッコトロ(ホ) レラル(フ)

tekkotoro (ho)
掌てのひら

reraru (hu)
胸むね



パルンペ(ヘ) ニマキ(ヒ)

parunpe (he)
舌した

nimaki (hi)
歯は



ラル(フ) ハンコ(ホ)

raru (hu) hanko (ho)
眉まゆ 臍へそ



イッケウエ(ヘ) セトウル(フ)

ikkewe (he)
腰こし

seturu (hu)
背中せなか



☆「静かな湖畔」のふしにあわせて、からだの各部かくぶの呼び方よを覚かたえる歌おぼです。指差ゆびさしたり、動うごかしたりしな
から覚おぼえましょう。
下線かせんを引いた単語ひは () の中なかまで歌うたいます。

さくせい きたはらじろうた
(作成:北原次郎太)

がつ かんしゃ
2月 カムイに感謝をする

アイヌの大きなお祭りのひとつに、イオマンテという行事があります。おおぜいの人
が集まって、人間の世界にやって来た動物のたましいを、神さまの世界に送り帰します。

アペウチカムイ エコタ エカシ オンカミ。
Apehucikamuy ekota ekasi onkami.

火の女神 ところ おじいさん 拝礼する

「おじいさんが火の女神へ拝礼する」

ユポ チロシ エアク。
Yupo ciros eak.

私の兄さん 花矢 射る

「兄さんが花矢を射る」



ウ克蘭 クモコロ エアイカプ。
Ukuran ku=mokor eaykap.

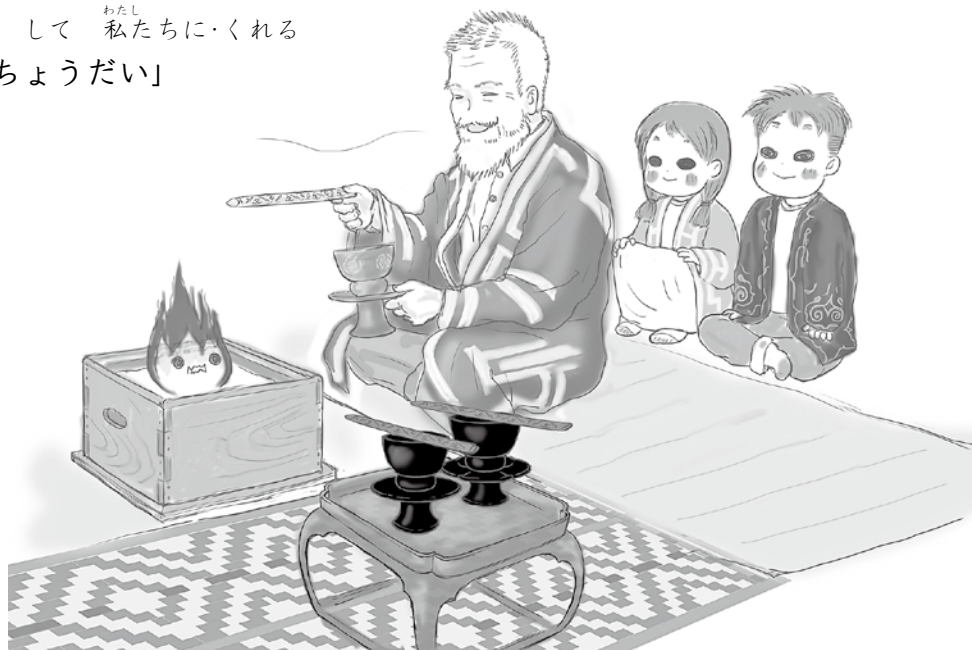
さくぼん わたし ねむ できない
昨夜 私が眠る

「昨日の夜は眠れなかった」

カンナ シネウェ ワ ウンコレ ヤン。
Kanna sinewe wa un=kore yan.

また 訪問する して 私たちにくれる

「また遊びに来てちょうだい」



3月 子グマを授かる

寒さがゆるんでヒグマが冬眠から目覚める頃に山獵をすると、母グマと一緒に生まれたばかりの子グマを捕獲することがあります。このことは、アイヌの暮らしの中では神さまから子グマの飼育を任せられたと受け止められ、たいへん名誉なことだと考えられてきました。

ハンペ、 ネイネ エシパイエ ヤ? (パイェアナ?)
 Hampe neyne es=paye ya? (paye=an ya?)

ちちおや 父親 どこへ あなたが・行く ですか

「お父さん、どこに行くの? (どこに行くのですか?)」

※目上の人に対しては、敬語(ていねいなことば)を使います。

クイラマンテ クス エキムン クオマン。
 Ku=iramante kusu ekimun ku=oman.

わたし かが 狩りをする ために やま 山へ わたし いく 私が行く

「山に獵に行くんだ」

クアニ カ クオマン ルスイ。
 Kuani ka ku=oman rusuy.

わたし 私 も わたし 私が・行く したい

「僕も行きたいなあ」

ポン エペレ ソンノ ピリカ ルウエ アン。
 Pon eper sonno pirka ruwe an.

ちい 小さい こ 子グマ ほんとう 本当に よい こと ある

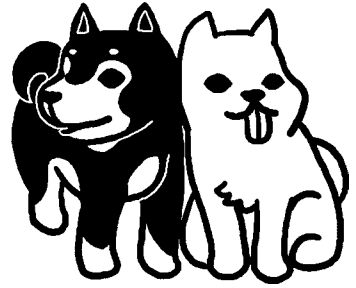
「子グマはとてもかわいい」





覚えよう～「小さな」の言い方～

ポン エペレ	pon eper	「小さな子グマ」
ポン イセポ	pon isepo	「小さいウサギ」
ポン チカフ	pon cikap	「小さい鳥」
ポン チェフ	pon cep	「小さい魚」

クアニ カ クオマン ルスイ。
Kuani ka ku=oman rusuy.

わたし 私 も 私が・行く したい

「僕も行ききたいなあ」

「私が行く」の部分^{わたし}を他の言葉^いに置き換えて「私も～したい」と言ってみましょう。

ケラアン ペ クエ keraan pe ku=e 「私^{わたし}がおいしいもの^たを食べる」
クシネウエ ku=sinewe 「私^{わたし}が遊び^{あそ}びに行く^い」
クシノツ ku=sinot 「私^{わたし}が遊ぶ^{あそ}ぶ」



これまで学^{まな}んできた文^{ぶん}の中に、「ク ku=」と「エ e=」という言葉^{ことば}がいくつも出^でてきます。「ク ku=」は、日本語^{にほんご}で「私^{わたし}が（私^{わたし}は）」、「エ e=」は「おまえが（おまえは）」という意味^{いみ}です。

アイヌ語^ごでは、「食べる^た」「飲む^の」「遊ぶ^{あそ}ぶ」など、自分^{じぶん}が何か^{なに}をする場合^{ばい}には、「～する」という意味^{いみ}のアイヌ語^ごの前に、必ず「ク ku=」という言葉^{ことば}を付けます。

例えば、「私^{わたし}は外^{そと}で遊^{あそ}んだ後^{あと}にお菓子^{かし}を食^たべて、それから水^{みず}を飲^のんで寝^ねた」という文^{ぶん}をアイヌ語^ごにしようとすると、「遊^{あそ}んだ」、「食^たべて」、「飲^のんで」、「寝^ねた」の4つをアイヌ語^ごにしてから、4つ全部^{ぜんぶ}に必ず忘^{わす}れずに「ク ku=」を付けます。これはアイヌ語^ごの大事^{だいじ}な決^きまりごとのひとつです。

詳しいこと^{くわ}は『初級編^{しょきゅうへん}』で、また勉強^{べんきょう}しましょう。

☆12カ月の月のなまえ☆

アイヌ語による月の言い方を紹介します。地域によって言い方に違いがあります。

4月	(石狩川) (多蘭泊) (沙流)	ウパシルレチュブ arakoj noka モチユブ	upasrurecup arakoj noka mocup	「雪をとかす月」 「キウリ魚の姿を見る月」 「達者で静かに暮らしているから」
5月	(石狩川) (多蘭泊) (沙流)	ムンドッカチュブ ihumpa čux シンチチュブ	muntukkacup ihumpa čux sincicup	「草を生やす月」 「山菜を刻む月」 「これからあたたかくなる」
6月	(石狩川) (多蘭泊) (沙流)	トイタチュブ ima čux マウタチュブ	toytacup ima čux mawtacup	「土を掘る月」 「魚の焼干しを作る月」 「ハマナスを植える月」
7月	(石狩川) (多蘭泊) (沙流)	クンネヤシチュブ saxčex čux マウチチュブ	kunneyascup saxčex čux mawcicup	「夜流し網する月」 「乾魚を作る月」 「ハマナスが熟す月」
8月	(石狩川) (多蘭泊) (沙流)	クンネスシチュブ ikara čux ハブラブ	kunnesuscup ikara čux haprap	「夜沐浴する月」 「？」 「木の葉が落ちそうにたれさがる月」
9月	(石狩川) (多蘭泊) (沙流)	ヤシチュブ urexkita čux ニホラク	yascup urexkita čux nihorak	「流し網する月」 「足裏に霜を感ずる月」 「草や木の葉がおちる月」
10月	(石狩川) (多蘭泊) (沙流)	コムニランチュブ komnirancup ウレポク	komnirancup surani čux urepok	「松明による川漁の月」 「足の裏で霜柱がパラパラ鳴るから」
11月	(石狩川) (多蘭泊) (沙流)	ニテ克蘭ケチュブ nitekrankecup nan čux ルウェカリチュブ	nitekrankecup nan čux ruwekaricup	「木の枝落とす月」 「寒冷な月」 「鹿を追って先回りする月」
12月	(石狩川) (多蘭泊) (沙流)	ウパシランケチュブ upasrankecup rū čux チュルブ	upasrankecup rū čux curup	「雪降らす月」 「凍結する月」 「雪煙が立つ月」
1月	(石狩川) (多蘭泊) (沙流)	イノミチュブ inomicup toetanne トウエタンネ	inomicup toetanne towetanne	「祈る月」 「日が永くなる月」 「1月日が長くなる」
2月	(石狩川) (多蘭泊) (沙流)	タシクルチュブ taskurucup haxrax クウェカイ	taskurucup haxrax kuwekay	「霜降る月」 「黒百合塊茎を掘る月」 「雪で仕掛け弓に使う台が壊れる」
3月	(石狩川) (多蘭泊) (沙流)	トエタンネ toetanne kiūta キウタチュブ	toetanne kiūta kiwtacup	「日長くなる」 「姥百合塊茎を掘る月」 「ユキザサ」

* 石狩川方言の月名は『昭和56年度アイヌ民俗文化財調査報告書 アイヌ民俗調査Ⅰ(旭川地方)』(北海道教育委員会, 1982年) から引用しました。ただし、日本語訳は同書の内容を要約してつけたものです。これは旧暦に基づいた月名です。

* 多蘭泊方言の月名は、山本祐弘『樺太アイヌ・住居と民具』(相模書房, 1970年) から引用しました。ただし日本語訳は分りやすく変えたところがあります。なお、čuxはチュ、xは小さいハ、ヒ、フ、ヘ、ホに近い音だと考えられます。

* ※沙流の月名は田村すず子さんの『アイヌ語沙流方言辞典』を参考にしています。これは旧暦に基づいた月名です。

■クロスワードの正解 せいがい

		4	コ		7	サ	ク
1	エ	ト	ロ			ツ	
	カ		5	コ	ン	チ	
	シ		ニ			エ	
		3	マ		6	ア	プ
2	オ	タ			ハ		

いしかりがわのアイヌご

発行年月 2014年3月 初版 第一刷
2015年3月 初版 第二刷

発 行 公益財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構
〒060-0001
北海道札幌市中央区北1条西7丁目プレスト1・7 5階
TEL (011)271-4171 FAX (011)271-4181
URL <http://www.frpac.or.jp> E-mail: ainu@frpac.or.jp

印 刷 株式会社北海道機関紙印刷所

